

I 調査表 中学校 [国 語]

採択基準	観 点	出版社			
		光村 図書	東京 書籍	三省 堂	教育 出版
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	◎	◎	◎
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	(1) 分量・難易の程度が、生徒の実態に応じるよう配慮されているか。	◎	◎	◎	◎
	(2) 学習への関心・意欲を喚起し、生徒の発達段階に即して適切な話題を取り上げたり、話や文章の種類などを調和的に扱ったりするなど、教材選定への配慮がなされているか。	◎	◎	○	○
	(3) 生徒の言語活動をふまえて、主体的・対話的な学習を促す工夫がなされているか。	◎	◎	◎	◎
	(4) 文字の大きさ、字体、行間、字間は適切か。	◎	◎	◎	◎
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、図表、写真等が鮮明で、理解を助け、思考力や想像力を高めるよう配慮されているか。	◎	◎	◎	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 単元の配列が、生徒の言語生活や系統的な指導に照らして適切か。	◎	◎	◎	◎
	(2) 単元相互の関連性や連続性が、有効に図られているか。	◎	◎	◎	◎
	(3) 主体的に学習に取り組みながら言葉による見方・考え方を働かせ、相互に関わり合いながら各領域の言語活動が十分に行われるよう配慮されているか。	◎	○	○	○
	(4) 「知識及び技能」が「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」と関連をもち、系統化されているか。	◎	◎	◎	○
	(5) さし絵、図表、写真等が学習展開に有効に活用できるよう配慮されているか。	◎	◎	◎	◎
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるように工夫されているか。	◎	◎	◎	◎
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	◎	◎	◎	◎

Ⅱ 適当と認められた理由 中学校 [国 語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活に必要な国語の特質について理解し、さまざまな場面で主体的に活用できる、生きて働く「知識及び技能」として習得できるよう、教材化や配列が工夫されている。 ・ 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」を育成できるよう、教材化や配列が工夫されている。 ・ 身近な言語文化に関わる題材を多く扱い、言語感覚を豊かにし、今後の社会生活で生かせるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1)	教材は、生徒の発達段階に応じて段階的かつ系統的に配置され、ある時期に偏ることのないよう、各領域は軽重を付けながら配置されるなど、バランスが良くなるよう工夫されている。
	(2)	はじめは身近な題材から、徐々に生き方や広く社会に関わる題材へ、生徒の言語環境と発達段階に応じて、幅広い分野から題材を求め、学習意欲が喚起されるよう工夫されている。
	(3)	日常生活に関連したり、知的好奇心を喚起したりするような問いを基にした言語活動が設定されており、主体的・対話的な学習が促されるよう工夫されている。
	(4)	フォントサイズや行間を変えたり、手書き文字に近いフォントを使ったりするなど、生徒の発達段階を考慮し、学習上の支障とならないよう工夫されている。
	(5)	図表は色だけに頼ることなく作成されていて、色覚特性にも配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1)	生徒の発達段階に合わせて、系統的に学習ができるようにバランス良く教材が配置されている。
	(2)	単元の後に、本教材で学んだ内容を活用できる別の教材が位置づけられていて、生徒が思考力、判断力、表現力等の力を、実践を通して高められるよう配慮されている。
	(3)	単元の終わりに、自分の言葉で表現をする学習が示されていて、言葉による見方・考え方を働かせて文章を理解し、適切に表現する力を付けることができるよう工夫されている。
	(4)	「学習の窓」が各単元展開中に位置付けられていて、それを手がかりに教師と生徒が見通しをもちながら学びを深めることができるよう工夫されている。
	(5)	情報整理の仕方や思考の方法などを図で説明していて、視覚的な資料を用いて指導することができるよう配慮されている。
	(6)	単元ごとの振り返りが具体項目で設定されているため、各教材の目標と重ねて、付ける力を意識しながら学習し、学習後には自己評価をして次の学習につなげられるよう配慮されている。
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの教材において「学習」が設けられており、見通しをもつことで、主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ・ 教科書の随所に Web コンテンツが記載され、教科書の内容と連動したコンテンツを閲覧できるよう配慮されている。

教科名	発行者	教科書名
国 語	光村図書	国語 1 ～ 3

上記発行者の教科書を選定した理由

1 生徒の発達段階にあわせた良質でわかりやすい教材

(1) 生徒の発達段階に応じて段階的かつ系統的に教材が配置され、特定の時期や特定の領域に偏らないように工夫されている。

(2) はじめは身近な題材から徐々に生き方や広く社会に関わる題材へ生徒の言語環境と発達段階に応じて幅広い分野から学習意欲が喚起されるように工夫されている。

2 主体的・対話的で深い学びが可能

(1) 何を学ぶのか自覚しながら意識的にその教材で学ぶことができ、主体的な取り組みが考えられる。

(2) 日常生活に関連したり、知的好奇心を喚起したりするような問いをもとにした言語活動が設定されており、主体的・対話的な学習が進められるように工夫されている。

(3) 教材末に「広がる読書」として、読書活動につなげられるように本の紹介が位置づけられている。

3 新しい時代に必要な国語力が身につく

(1) 学習指導要領に示された「情報の扱い方」については、複数のテキストから情報の質や信頼性を評価・吟味できるように工夫されている。また、根拠を示しながら自分の考えを伝えられるような力が身につくように段階的に構成されている。

(2) 日常生活を支える基板となる語彙力向上のための教材が多数設定されている。マップでの言葉集め、類義語での比較、今と昔の言葉の変化の取り上げ等、より多様な語彙の習得活動が可能となっている。

(3) SDGs（持続可能な開発目標）に関連する教材が多数取り上げられ、自ら問いを持ち、考えを交流し、深い学びが実現できるようにしている。

I 調査表 中学校 [書 写]

採択基準	観 点	出版社			
		光 村 図 書	東 京 書 籍	三 省 堂	教 育 出 版
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	○	○	○	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	(1) 文字・語・文・文章・書体等は発達段階に応じているか。	○	○	○	○
	(2) 生活経験に即し、文字に対する興味・関心を高める学習となるよう配慮されているか。	○	○	○	○
	(3) 生徒の気付きを大切にし、必要な技能を身に付けられるよう配慮されているか。	○	○	○	○
	(4) すべての生徒にとって見やすいように文字、さし絵、写真、図表、コントラスト等などが鮮明で、適切に組まれているか。	○	○	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	(1) 点画・筆順・文字の大小、書体などから見て、単元の配列が適切であるか。	○	○	○	○
	(2) 硬筆、毛筆の基礎的な技能がわかりやすく段階的に配列され、学年間の関連が配慮されているか。	○	○	○	○
	(3) 日常生活に役立ち、文字に関わる経験を豊かにできる題材など、生徒の主体的な学習を育てる題材が配列されているか。	○	○	○	○
	(4) さし絵、図表、写真、参考作品などが、指導に生かせるよう工夫されているか。	○	○	○	○
	(5) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色	○	○	○	○

II 適当と認めた理由 中学校 [書 写]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・身につけるべき基礎・基本、理解すべき原理・原則を明確かつ分かりやすく示すことで、作品として整った字を書くだけでなく、知識及び技能を習熟できるよう工夫されている。 ・すべての教材で①考えよう（気づき・導入）②確かめよう（課題把握・追究）③生かそう（応用・日常生活での定着化）という学習の展開が固定されているため、主体的に見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・文字文化に触れるきっかけとなる資料「全国文字マップ」などが取り上げられていて、改めて文字意識が養われるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性	(1)	生徒の習熟段階に即した書体の題材が示されていて、楷書や行書の特徴が端的に表れやすい文字が選定されている。
本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(2)	「手紙の書き方」の活用例が今までよりも紙面で大きく扱われていて見やすく工夫されている。また、「全国文字マップ」は身の回りの様々な書体の文字が日常の中にあることに気づかせる工夫といえる。
	(3)	單元ごとに、①「考えよう」②「確かめよう」③「生かそう」とわかりやすく示され見通しをもって学習活動が行われるよう配慮されている。
	(4)	QRコードによってWebコンテンツによる動画教材にアクセスして筆遣いや穂先の動きを繰り返し視聴できることで理解が深まるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い	(1)	小学校で習った楷書からスタートし、楷書と行書の相互関係を「学習の窓」でていねいに追いながら、行書指導につなげている。自然の美しさや希望、優れた言葉・文章が選定されている。
〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	(2)	「楷書に調和する仮名」で「は」や「ほ」の「結び」の書き方についてわかりやすい解説が加わり、基礎基本の技能習得の工夫がなされている。
	(3)	文字の歴史や成り立ちの資料、身近な文字文化の紹介の資料等があるため、生徒が興味をもって学習できるよう配慮されている。
	(4)	Webコンテンツで毛筆書体の運筆や穂先の動画の資料を、生徒が興味をもって繰り返し見ることができ、主体的に理解・習得できるよう配慮されている。
	(5)	今までは、毛筆で理解・習得した書き方を硬筆活動で定着を図る場面が少なかったが、「書写ブック」で硬筆書写活動が十分になされるよう配慮されている。また、硬筆書写の積み重ねが自身で振り返ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やWebコンテンツが配置されており、学習内容や既習事項が視覚資料で確認できるよう工夫されている。 ・楷書と行書で示された常用漢字表、人名用漢字表があり、実生活で活用できるよう工夫されている。

教科名	発行者	教科書名
書 写	光村図書	中学書写一・二・三年

上記発行者の教科書を選定した理由

1 知識・技能の確実な習得ができる

(1) 教科書に完全準拠した硬筆練習帳「書写ブック」が付属品として付いている。毛筆の学習を生かした硬筆の練習をくりかえすことで確かな書写力が身につく。

(2) お手本一つ一つにQRコードをつけ、動画で瞬時に筆遣い等を確認することができる。視覚を通して技能の習得できる工夫がされている。

(3) お手本は2ページの見開きであり、ほぼ原寸大で示されているので、書き始めの位置や字形の整え方、文字の大きさ、余白のとり方を実感しながら学べる。

2 主体的・対話的で深い学びが可能

(1) 学習の進め方が1「考えよう」2「確かめよう」3「生かそう」の3ステップで段階的・系統的に示され、何をどう学ぶか見通しを持ち、主体的に取り組むできるように構成されている。3ステップで明快に示されているので、指導者にとっても扱いやすい。

(2) 「学習の窓」というコーナーを課題ごとに設け、その中で生徒に分かりやすいように書くときのコツを伝えている。「学習の窓」を手がかりに、生徒が主体的に追究することができる。

3 生きて働く書写力を身につけることができる

(1) 書写で身につけた技能を日常生活に生かせるように他教科や学校生活・家庭生活で活用できるようなヒントが多様に示されている。

(2) 学習指導要領で示されている豊かな「文字文化」に親しめるような構成がなされている。

I 調査表 中学校 [数学]

採択基準	観 点	出版社						
		東京書籍	大日本図書	学校図書	教育出版	啓林館	教研出版	日本文教出版
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもられているか。	◎	○	◎	◎	◎	○	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 発達段階に応じ、生徒の多様な考え方や数学的な処理の仕方を生み出せるように配慮され、分量も適切か。	◎	◎	○	○	◎	○	◎
	(2) 興味・関心を喚起し、自ら問題を見出し、解決するための構想を立て、実践し、その過程や結果を評価・改善するなどの数学的活動になるよう、内容構成への配慮がされているか。	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎
	(3) 現実の世界と数学の世界それぞれにおける問題発見・解決の過程が相互に関わり合いながら、生徒が目的意識をもって、主体的・対話的に学習できるよう、展開が工夫されているか。	◎	○	◎	○	◎	◎	◎
	(4) 既習の学習内容を繰り返し学習ができるような配慮がされているか。	○	◎	◎	○	◎	◎	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、資料、図表等の意図が明確で、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されているか。	◎	○	○	○	◎	○	◎
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の構成や配列が、目標に照らして適切か。	◎	○	◎	○	◎	○	○
	(2) 数と式、図形、関数、データの活用の内容が生徒の発達に即して系統化され、基礎的・基本的な内容の扱いが適切か。	○	◎	○	◎	◎	◎	◎
	(3) 主体的に活動しながら数学的な見方・考え方を働かせ、事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、相互に関わりながら根拠を基に筋道を立て、論理的、統合的・発展的に考えられるような配慮がされているか。	◎	◎	○	◎	◎	○	○
	(4) 数と式、図形、関数、データの活用の各領域を相互に関連付けたり、内容を補充・発展させたりして、個に応じた指導に生かせるような配慮がされているか。	◎	○	○	○	◎	◎	◎
	(5) 用語、記号、記述が数学的に正確であり、さし絵や資料等が指導に生かせるものになっているか。	◎	○	◎	◎	◎	◎	○
	(6) まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫されているか。	◎	◎	○	○	◎	○	◎
4 全体的な特色	(1) 選択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	◎	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 { 数学 }

採択基準	適当と認めた理由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	<p>○各社とも、節の導入には身近な問題を取り入れ、主体的に学ぶ楽しさを引き出そうと工夫されている。また、振り返りながらスパイラル的に学び、基礎的・基本的な力の定着を狙いながら、深い学びへつなげられるように配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に生活や学習に活かし、基礎・基本の知識及び技能を習得できるよう配慮されており、資質・能力を育むために、数学的な見方・考え方にふれ、それらを働かせて考えられる場面設定が工夫されている。また、数学を積極的に活用しようとする態度や問題解決の過程を振り返って、評価・改善しようとする態度を培えるよう工夫されている。【啓林館】 ・既習内容を活かしながら論理的に考察し、数量や図形の性質を見いだすことで、統合的・発展的に考察できるよう工夫されている。【学校図書・教育出版】 ・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、考察する力や表現する力が高まりやすいよう工夫されている。また、問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度や数学的な見方考え方を活用する態度が養えるよう配慮されている。【東京書籍】
<p>2 生徒の学習活動への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等</p>	(1)	<p>○各社とも、発達段階に応じた多様な学習活動が展開できるよう、学習問題や問題配置への配慮が段階的になされておりとてもよく整理されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中で有用に働いていることを実感しながら、主体的に学習に取り組めるよう題材や表現の仕方などが配慮されている。【啓林館・日文】 ・学習問題を「考えてみよう」「説明してみよう」「調べてみよう」と学習内容別に提示することで、生徒が何を考えればよいのかのわかりやすさや整理されている。【東京書籍】 ・生徒が興味を持てる内容の導入など、日常生活や社会と数学を関連させた学習問題が多く、数学と身の回りの事象とのつながりを感じながら取り組めるよう配慮されている。【大日本】
	(2)	<p>○各社とも数学的活動に重点を置いた学習を設定し、思考力・判断力を育むことができるよう配慮されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題発見・解決の過程を段階（4ステップ）に分けて示すことで、自分から問題を発見したり解いた問題をさらに発展させたりできるよう配慮されている。【啓林館・大日本】 ・課題解決への学習活動の流れを明示し、試行錯誤しながら、数理的に捉えていく過程を体験することで、課題解決力の高まりを実感できるよう配慮されている。【教育出版】 ・生徒の思考に沿った学習を示したり、問題を振り返る場면을意図的に設けたりすることで、論理的、統合的・発展的に考えられるよう配慮されている。【日文】 ・身の回りの問題の解決を章全体で問題発見・解決のサイクルを回しながら行うことで、興味・関心を持ちながら学べるように配慮されている。【東京書籍】 ・生徒と教師の対話を考えることで、課題を見いだしたり、学習の見通しをもったりして活動することができ、統合的・発展的に考える力が身につくように配慮されている。【教研出版】
	(3)	<p>○各社とも、身近な題材や対話的な導入場面の設定等により、主体的に、多様な追究、学習ができるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」では、数学的な表現を用いて説明し伝え合う場面を取り入れ、対話的な活動を多く取り入れる工夫がされている。【啓林館】 ・生活の中から問題を発見し、教材化して問題を解決していくよう展開され、対話的に学習できるよう工夫されている。【学校図書】 ・「学び合おう」では、問題解決的な学習の流れが示され、自分の考えを説明したり、他者との学びを深めたりできるよう工夫されている。【日文】 ・大切にしたい見方・考え方の場面では、虫眼鏡マークを設け、問題の条件を変えることを促し、多様な考え方が追求できるように工夫されている。【東京書籍】 ・章末に他教科や生活と関わる題材を取り上げ、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養えるように工夫されている。【教研出版】
	(4)	<p>○各社とも、適切、適量な練習問題等の設定により、自己評価しながら既習内容を繰り返し学習できるような配慮がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふりかえり」で既習内容を学び直したり、章末問題や「もっと練習しよう」で反復学習したりできるよう、解説用QRコードの配置もなされるなど配慮されている。【啓林館】 ・既習内容の確認が容易で、振り返りの場を設定することで、戻って学び直しができるよう配慮されている。【学校図書】 ・各章の始めの「ふりかえり」で、既習内容の系統的な振り返りや体系的な知識及び技能の確認ができるよう配慮されている。【教研出版】 ・「プラスワン」や補充問題のつながりが示され、個々の理解に応じた問題に取り組んだり、振り返りながら、知識技能の習得が図られるよう配慮されている。【大日本】
	(5)	<p>○各社とも、ICT機器に対応したり、ユニバーサルデザインに配慮しつつ、視覚的に興味、関心を高め、わかりやすく学習できるよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容の判別がしやすい配色やUDフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインの観点から、色だけで判断する問題を避け、内容が理解しやすいよう工夫されている。【啓林館・日文】 ・色覚特性に対応するカラーユニバーサルデザインや見やすく読み間違えにくいUDフォントを使用し、分かりやすく読みやすい紙面になるように工夫されている。また、点が動く問題などではQRコードを読み込んで、動画を再生しながら生徒の理解を助ける工夫がされている。【東京書籍】

<p>3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い</p> <p>「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価</p>	<p>(1) ○各社とも、基礎・基本を確実に定着させ、それを活用でき、新しい学習へつなげる力を伸ばすための単元の系統性や関連性に配慮された構成と配列がされている。 ・一冊の教科書で、表表紙横開きと裏表紙縦開きの2部構成とし、生徒の個性に応じてバランスよく学習が進められるよう配慮されている。【啓林館】 ・導入、本文や例題、その習得を図るための問題と一貫した学習ができるように全ての章で配慮されている。【学校図書】 ・各章のとびらにおいて、小学校内容を振り返る問題を提示したり、新たな問いや疑問を提示したりして、数学的に考える資質・能力が育成できるように工夫されている。【東京書籍】</p>
	<p>(2) ○各社とも、具体的な事例から導入し、スパイラル的に学習を進めながら、基礎的・基本的な内容の定着を確認しつつ学びが深まっていくように配慮されている。 ・概念・原理・法則を、具体的な「例」を多くして学びやすくするとともに、生徒の思考を意識して具体から抽象へ、基礎から発展へとといったステップで学習が進められるよう工夫されている。【啓林館・日文】 ・各単元で具体的な場面を導入とし、既習内容の定着を促すための定着問題や振り返り、誤答例を出すなど、個々の生徒の学習状況に応じた配慮がなされている。【教育出版】 ・「確認問題」では、復習する内容を探しやすくなるように、関連するページを示し、基礎的・基本的な知識及び技能が身につくよう配慮されている。【教研出版】 ・各小単元で、学習の「めあて」が示してあり、追究内容や方法を明確にして追究でき、既習をいかした解決の仕方を学べるよう配慮されている。【大日本】</p>
	<p>(3) ○各社とも、多様な追究を引き出したり互いに表現したりする問題を設定し、解決のヒントとなる既習事項を示して、見直しをもって筋道立てた追究ができるよう配慮されている。 ・学習内容を身の回りで活用する場面を設けたり、活用されている場面を紹介したりしながら、「ステップ方式」の構成にして事象を教材化したり、数学的に表現処理したりする力を身につけ、数学を学ぶ意義や有用性を実感できるよう配慮されている。【啓林館】 ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る問題や、既習内容を活用させながら取り組む問題など、個々の生徒の学習状況に活かせるよう配慮されている。【教育出版】 ・学習に関連した歴史的内容や社会と関連のある題材を使って、数学のよさや有用性を実感できるように配慮されている。【東京書籍】 ・「学びの振り返り」「活用・探求」が各章に配置され、学習内容に関連させて数学の有用性に目を向けさせ、日常生活や他教科とのつながりを意識して学習ができるよう配慮されている。【大日本】</p>
	<p>(4) ○各社とも、章末問題に補充、発展問題を加え、問題解決や新しい学習内容に活かそうとする態度を育て、個々の課題に応じた指導ができるよう配慮されている。 ・使った数学的な見方・考え方を「虫めがね」として示し、授業の中で自然にふれた数学的な見方・考え方を改めて振り返られるよう配慮されている。【啓林館】 ・「チャレンジ」として応用問題を出題したり、節末の「基本の問題」で問題ごとに戻るべき個所を示したりすることで、個に応じた学習に活かせるよう配慮されている。【日文】 ・生徒のイラストの会話や各章の利用の問題での見出しが数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な活動を促すよう配慮されている。【東京書籍】 ・別冊探求ノートでは、問題解決する力をさらに伸ばせる題材が用意され、個の意欲に応じて発展的に考えられるよう配慮されている。【教研出版】</p>
	<p>(5) ○各社とも、用語や記号を分かりやすく示して説明を加えるとともに、生徒が学習に生かせるような身近な挿絵や資料等を用いる配慮がなされている。 ・むやみに多くの用語や記号を取り上げず、明確簡潔で有効なものに厳選されている。紙面では表現できない動きをQRコードによる動画で準備することで、指導に活かせるよう工夫されている。【啓林館】 ・「用語・記号の由来」のコラムや、身の回りにおける写真を取り上げたり、動画コンテンツを準備したりして指導に生かせるよう工夫されている。【学校図書】 ・巻末の用語の索引や、ノートの取り方のポイントから、個々の生徒に応じた学習に活かせるよう工夫されている。【教育出版】 ・シミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを提示したり、つまずく生徒にヒントとなる言葉を示したりして生徒の問題理解や追究に活かせるよう工夫されている。【東京書籍】 ・デジタルコンテンツを利用して、視覚的な理解を支援したり、質の高い学びを効率よく実現するように工夫されている。【教研出版】</p>
	<p>(6) ○各社とも、章末問題にふり返りができる問題を設定し、教師による評価や自己評価ができる観点を示し、学習内容の定着が確かめられるよう配慮されている。 ・「学びをたしかめよう」では、問題の設定意図と関連ページを示し、チェック欄を設けることで、生徒自身は自己評価、指導者には評価に役立つよう工夫されている。【啓林館】 ・「学習のめあて」や「考えよう」「説明できるかな？」などのマークがついており、マークの種類により指導と評価が明確になるよう工夫されている。【日文】 ・「基本の問題」では、解き方の参考になる振り返りの例題のページを示したり、「章の問題」では「活用の問題」を取り入れたりして基礎的な力から活用する力まで身に付けられるように工夫されている。【東京書籍】 ・「振り返ろう」では、学習したことの理解や良さの確認を促し、観点に応じた評価のチェック欄があり、自らの学習を評価し、今後の学習につなげていくことができるよう工夫されている。【大日本】</p>
<p>4 全体的な特色</p>	<p>(1) ○各社とも、理解や習熟の程度に応じ、主体的に学習が進められるよう、体裁や教材、問題配列やスモールステップな展開の問題形式に配慮するなど特色のあるものとなっている。 ・興味・関心を深めて数学を学ぶ楽しさや意義を実感しながら自分の学びを主体的に広げていけるよう工夫されている。数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、主体的に学習する態度を養い、学びが深まるよう工夫されている。【啓林館】</p>

教科名	発行者	教科書名
数 学	(株) 新興出版社 啓林館	未来へひろがる数学 1、2、3

上記発行者の教科書を選定した理由

○各社とも、理解や習熟の程度に応じて、主体的に学習が進められるよう、体裁や教材、問題配列や問題形式等に配慮されており、優劣は付け難いが、上記教科書が、他との比較において優れていると判断した理由は以下の通りである。

- ① 小中の系統性を重視し作成されている。「ふりかえり」「ひろげよう」「算数をふりかえろう」などにより算数や既習の内容を確認しながらスパイラルな学習が行えるように配慮されている。
- ② 節毎にある「とびら」の部分で日常生活や社会、他教科と数学との関わりを考えることを通して、数学の有用性を実感し、主体的に学ぶ工夫がされている。
- ③ 「ふりかえり」で既習内容を学び直したり、章末問題や「もっと練習しよう」で反復学習ができるように 配慮されている。
- ④ 適所に「？」を配置し、問題をひろげたり、深めたりする視点を示してあり、主体的に問題を見いだす力を養い、深い学びが達成できるように工夫されている。
- ⑤ 今後ICTを活用した授業が推進されることが見込まれ、QRコードが随所(164箇所)に記載されており、学び直しの際の解説を動画で閲覧することができ、幾何分野の視覚教材としての有効性も期待できる。
- ⑥ 「虫めがね」のマークで示された部分で数学的な見方・考え方を振り返ることができ、繰り返しふれられるような配慮がされている。
- ⑦ 統計分野ではPPDACサイクルを意識した構成となっており、箱ひげ図の有用性がわかり、物事を複数の角度から考察する力の育成にも配慮されている。
- ⑧ 現在の教科書は本冊と分冊に2部化されていたが、使いやすさを優先して1冊に統合されている。
様々な学習形態に対応し、思考力・判断力・表現力を育むことができるよう工夫されている。

I 調査表 中学校 [理 科]

採択基準	観 点	出版社				
		東京書籍	教育出版	学校図書	大日本図書	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容の程度が生徒の発達に即しており、その実態に応じるよう配慮されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(2) 生徒の生活経験や地域性と結びついた問題の解決に生かすことができるとともに、理科の見方・考え方を働かせながら探求の力を身につける展開のし方への工夫がされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(3) 生徒が興味・関心を持ち、主体的・対話的に探究できるような配慮がなされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	(4) 例示された観察、実験の方法や図が適切で正確であり、かつ安全性への配慮がなされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等が鮮明で分かりやすく、生徒の学習意欲を高めるよう配慮がなされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 目標に照らして、単元の構成や配列が工夫されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	(2) 理科の見方・考え方を働かせ、問題を科学的に解決することができるように、内容や単元の関連性や連続性、系統性が図られているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	(3) 理科で育成を目指す資質・能力を身に付けることができるよう、主体的に取り組み、事象や自然と対話し、互いに関わり合いながら、具体的・体験的に学習が行えるよう展開が工夫されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(4) 観察、実験、ものづくりなどが、安全面や自然環境に配慮した位置づけになっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(5) さし絵、写真、図表等の内容が適切かつ正確であり、指導に生かせるものになっているか。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	(6) まとめや評価の観点が見え、明確になるよう工夫されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 全体的な特色	(1) 選択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

II 適当と認めた理由 中学校〔理科〕

採択基準	適当と認めた理由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	各社とも理科の目標を踏まえ、それに基づいて目標達成に必要な内容を不足なく的確に盛り込んでいる。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 〔本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真 図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等〕	(1)	見通しを持って、追究できるように工夫している。既習事項を関連させながら新たな課題をつかもうとしているところが良い。(東京書籍・啓林館)
	(2)	学習した内容に関連したコラムがあったり、対話的な場面や既習学習内容を想起させるようなイラストが有効に配置してあり工夫されている。(東京書籍・大日本図書・啓林館)
	(3)	対話的な学びができるよう、イラストを工夫して入れたり、自分の考えを記入したうえで話し合ったりするように工夫がなされ、表現力を高められるようになっている。(東京書籍・大日本図書)
	(4)	実験・観察の方法や図が適切で、安全に行うための注意喚起を、イラスト等も用いながら表現されている。
	(5)	図や写真、イラストが量・質ともに適切で、生徒が視覚的に情報として取り入れやすいものになっている。配色もパターン化されており色によって何を表現しているのかも伝わってくる。(東京書籍・啓林館)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 〔「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価〕	(1)	追究過程が明確で、問題提起から最後は、学びの中で結論を出していく展開になっており、追究しやすくなっている。活用に関する問いもあり理解がより深まるよう工夫されている。(東京書籍)
	(2)	問題発見や課題設定の場面で解決のヒントが示され、科学的に問題解決の見通しを持ち進められるように工夫されている。東京書籍は「Befor&After」で、学習によってどのように学習が深められたかを記入することで振り返りを行うことができる(東京書籍・大日本図書)
	(3)	見開きの1ページでそのページがどのような過程を示しているのかをページ下部に記されていたり、探求の過程に沿った学習の流れをが示されたりすることにより、つける力をより意識できる。(東京書籍・啓林館)
	(4)	少量の薬品で効果的な実験が工夫されていたり、注意事項にマークがしてあり安全に配慮されている。(東京書籍・大日本図書・啓林館)
	(5)	図や写真の大きさや量が適切であり、それと関連させながら学習を進められるものである。(大日本図書・啓林館)
	(6)	実験結果をもとにまとめを行える構成で、特に学習課題をもとにどのように考察するか話し合う場面も設定されており、思考力表現力がはぐくまれるよう工夫されている。(東京書籍・大日本図書)
4 全体的な特色	(1)	教科書が縦長になり、1ページの中で、活動内容がわかるように示してあったり、見開きの1ページでつけるべき資質・能力をまとめてあったりと、主体的で対話的な学びができるよう教科書の工夫が随所にみられる。

教科名	発行者	教科書名
理 科	東京書籍	新しい科学 1, 2, 3

上記発行者の教科書を選定した理由

東京書籍が、他社に比べて以下の点で優れているため選定した。

- ①教科書の縦の長さが他の教科書より長くなっており（縦がA4サイズの長さ）、そのことによって1ページの中に追究活動のどの場面に当たるか明確に示されており、見通しを持ちやすいものになっている。
- ②「これまでに学んだこと」で小学校での学びの振り返りになっており、小学校で学んだことのつながりを大切にしながら追究できる。
- ③「問題発見」「課題」「実験・観察」「結果」という構成で展開されており、生徒が見通しを持ちやすい展開になっている。
- ④課題に対する結論を導き出すところでは、ただ単に「まとめよう」だけでなく、「ノートに書いて他の人と比べよう」と対話的な学びができるように工夫している。
- ⑤「学びを行かして考えよう」と学習したことを、活用しながら考えるようになっており、深い学びが達成できるように工夫してある。
- ⑥単元の最後には「つながる科学」といった、学んだことと日常生活を結びつけるコラムが掲載されており、学んだことが生活に生きているんだということを実感できるように配慮されている。

①～⑥のように主体的で対話的で深い学びができるよう工夫されており、それによって理解・技能はもちろんのこと、思考力判断力・表現力を育むことができるように配慮されていることから選定した。

I 調査表 中学校 [英 語]

採択基準	観 点	出版社					
		東京書籍	開隆堂	三省堂	教育出版	光村図書	啓林館
1 教科の目標からの配慮	(1) 教科の目標を達成するために必要な内容が的確にもらわれているか。	○	○	○	○	○	○
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容の程度及び各課の分量が、生徒の発達段階に於けるよう配慮されており、適切であるか。	○	○	○	○	○	○
	(2) 実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、題材や内容構成への配慮がされているか。	○	○	○	○	○	○
	(3) 生徒の興味・関心・意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促すよう、題材や問題提示に工夫されているか。	○	○	○	○	○	○
	(4) 既習事項を活用しながら、音声による言語活動をはじめ、5領域を関連付けた学習ができるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
	(5) 全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等は鮮明でわかりやすく、生徒の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切であるか。	○	○	○	○	○	○
	(2) 言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であるか。また言語活動をする際に、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導が含まれているか。	○	○	○	○	○	○
	(3) 具体的な課題等が設定され、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に表現することができるよう配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
	(4) 主体的に取り組みながら、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて言語活動を行う際、言語の使用場面や言語の働きについて配慮されているか。	○	○	○	○	○	○
	(5) さし絵、写真、図、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接であるか。	○	○	○	○	○	○
	(6) まとめや評価の観点、明確になるよう工夫されているか。	○	○	○	○	○	○
4 全体的な特色	(1) 採択基準1～3の観点及び体裁を含めた全体的な特色。	○	○	○	○	○	○

Ⅱ 適当と認めた理由 中学校 [英 語]

採択基準	適 当 と 認 め た 理 由	
1 教科の目標からの配慮	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、知識及び技能を身に付け、思考力、判断力、表現力を養うため言語活動が行えるように配慮されている。 ・場面を設定することで、生徒が目的・場面・状況等に応じて、教科の見方・考え方を働かせながら学べるように配慮されている。(東書、開隆堂、光村)
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 (本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、小学校での学びを振り返る単元や、小学校で学んだ表現を用いて活動する単元が1年時の最初に設定されており、進級時の学習を円滑に始められるよう配慮されている。 ・生徒の発達段階に応じて、内容の程度及び各課の分量が適切に適切に配慮されている。(開隆、光村)
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、実際に英語を使用して、互いの考えや気持ちを伝え合うなどの言語活動が展開されるよう、題材や内容構成が工夫されている。 ・日常的な話題から社会的な話題へ、知識・技能の習得から活用へとといったように、学習段階に配慮した構成となっている。(東書、開隆、三省、光村)
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、生徒の興味・関心・意欲を喚起し、主体的・対話的な学習を促すよう、題材や問題提示が工夫されている。 ・絵図による進出表現を理解することや友との話し合いを通じて課題を解決すること、異文化理解や平和等に関する題材を読むことを通して、資質・能力を育成できるよう構成されている。(東書、開隆、三省堂)
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は「Stage Activity」、開隆堂は「Our Project」、三省堂は「Project」、教育図書は「Project」、光村図書は「You Can Do It!」、啓林館は「Project」で、既習表現を用いて、領域を統合した活動が設定されている。
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、全ての生徒にとって読みやすいよう工夫され、さし絵、写真、図、配色、コントラスト等は鮮明でわかりやすく、生徒の学習意欲を高め、理解や表現を助けるよう配慮されている。 ・小学校教科書で使われているフォントを1年生の段階では使用したり、身近な場面のイラストと表現を併記することで理解を図ったりするなど、学習者への配慮がなされている。(東書、開隆、三省堂、教育、啓林)
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い (「基礎的・基本的な知識・技能の習得」のための工夫、「思考力・判断力・表現力等の育成」のための工夫、「主体的に学習に取り組む態度を養う」ための工夫、関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価)	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、単元の構成や配列が、目標、内容項目に照らして適切である。 ・扉絵で、教師と生徒がやり取りをしながら話題をつかんだり、リスニングで状況を把握したり、単元の目標を理解できるように工夫されている。(東書、開隆、光村)
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> 各社とも、言語材料の配列や、相互の関連付けが適切であり、また言語活動をする際に、必要に応じて言語材料について理解したり練習したりするための指導が含まれている。
	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、具体的な課題等が設定され、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に表現することができるよう配慮されている。 ・単元の導入で、図表を使ってコミュニケーションを行う目的、場面、状況に生徒が気づき、自分の考えや気持ちを発信する言語活動が構成されている。(東書、開隆、光村)
	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、主体的に取り組みながら、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせて言語活動を行う際、言語の使用場面や言語の働きについて配慮されている。
	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、さし絵、写真、図、書体等が適切かつ正確であり、単元のねらいや本文との関連が密接である。
	(6)	<ul style="list-style-type: none"> ・各社とも、巻末のCAN-DOリストで各領域について、授業開きで年間の目標を確認したり、定期的に生徒が自己評価をして、自分ができるようになったことを確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に即した知識及び技能の習得を目指したり、既習表現や語彙に繰り返し触れ、使いながら身に付けたりして、自分の考えや気持ちを発信する活動を設定している。(東書、開隆、三省、光村)

教科名	発行者	教科書名
英 語	開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1, 2, 3

上記発行者の教科書を選定した理由

○基礎・基本の確実な定着を目指し、「習得」→「思考」→「表現」の流れで学習を進めることができるように単元が構成されている。

・「扉絵」で教師とのやり取りやリスニングを通して、生徒の関心を高めたり話題を把握したりすることができる。また、単元の目標を共有することができる。

・「Scenes」では、場面、状況がわかりストーリー性のある漫画を通して言語材料を学ぶことができる。新出表現がどんな場面・状況・目的で使われるのか、視覚的に理解できる。新しく学ぶことになる仮定法や現在完了進行形を用いた表現も無理なく理解できる。

・「Think」では、Scenesとは異なる場面・文脈の中で、進出表現の理解を深めることができる。また、本文の情報をもとに、答えを推測する発問で思考力を鍛えることができる。

・「Retell」は、単元で学んだ表現や内容を使って理解力と表現力を高める活動として設定されている。自分で表現を選んで話すので、即興性も鍛えることができる。

・「Interact」では、必然性のある場面やトピックが設定されており、伝え合い→友達の見意見を参考に→書いて伝えるという流れで、伝え合う楽しさを感じながら、表現力を高めることができる。

○学期に1回のペースで設定されている「Our Project」では、通常の単元で学んだ表現を用いて、身の回りの場面や社会的な場面について領域を統合した活動を行うことが可能である。4ページ扱いとなっており、表現の方法や手順などを丁寧に扱いながら資質・能力を高めることができる。

○日本の伝統を知り、文化を発信する、異文化を知り、国際理解を深める、自然科学に目を向ける、SDG'sに関連した題材等、これからの生きる生徒たちにとって考えることが必要な話題がバランスよく配置されている。

○小学校との接続に配慮し、1学年前半は小学校の教科書と同じフォントを、後半は一般的な活字体に近いフォントを使用しており、段階的な移行が図られている。また、小学校で学んだ表現の定着を図れるように「try」でSmall Talkを繰り返し行うことができる。

○単元にある「Think」は、様々なテキストタイプをまとめて読む構成になっているので、普段からまとまりのある英文を読む訓練になり、高校への接続も配慮されている。

以上のような点から、「教科の目標からの配慮」、「生徒の学習活動への配慮」、「学習指導への配慮」が適正になされ、生徒にとって学びやすく、教師が新学習指導要領の趣旨に則って指導できる教科書になっていると評価したため、本教科書を選定した。